

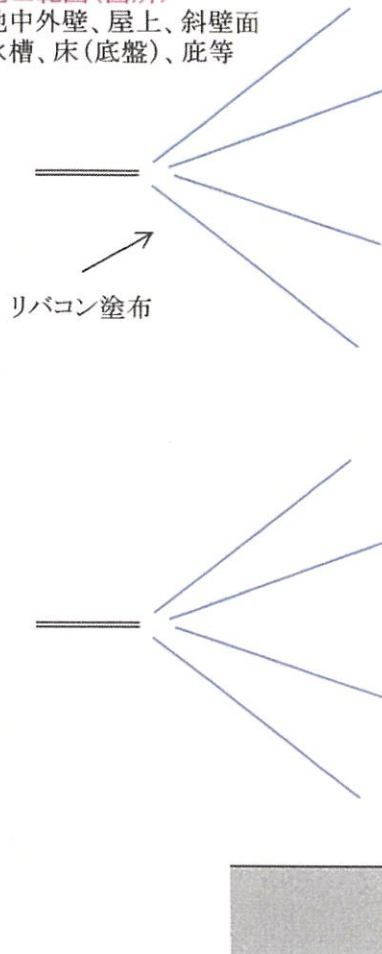
【防水・止水・長寿命化対策】

リバコン[防水工法]

①リバコン塗布工法

施工範囲(箇所)

地中外壁、屋上、斜壁面
水槽、床(底盤)、庇等

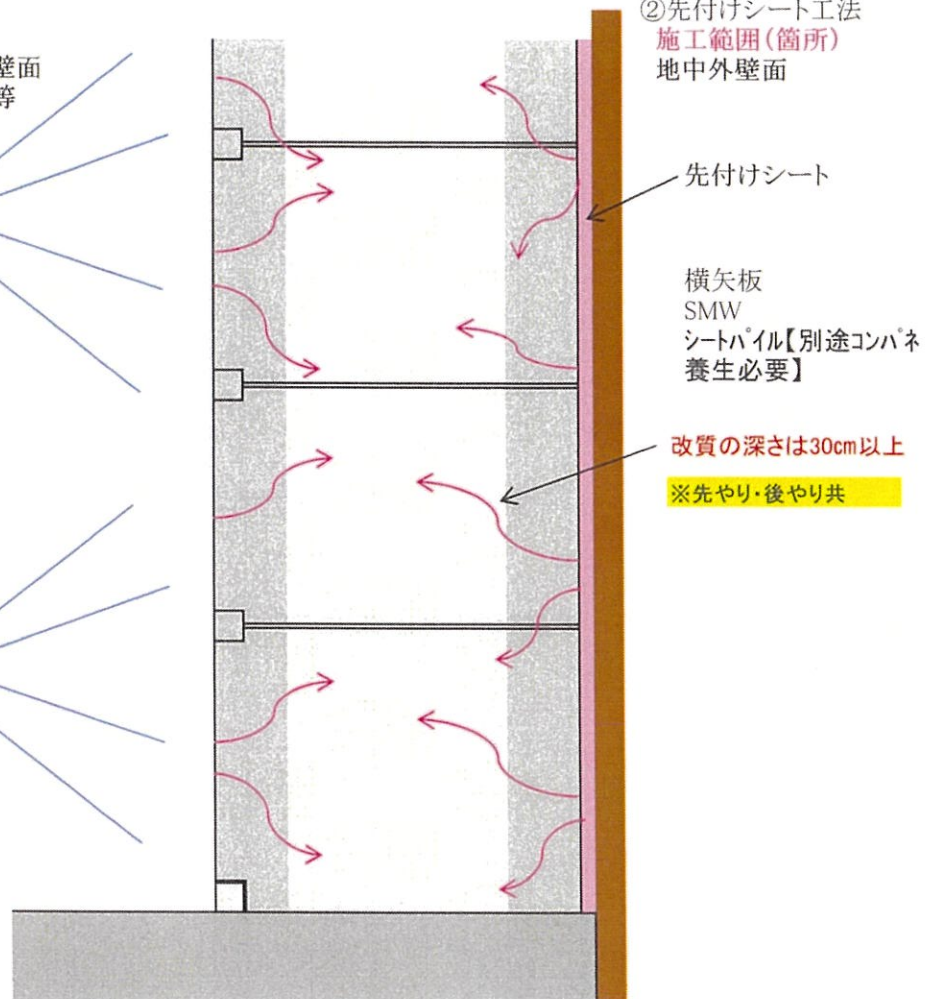


リバコン塗布

②先付けシート工法

施工範囲(箇所)

地中外壁面



先付けシート

横矢板
SMW
シートパイル【別途コンパネ
養生必要】

改質の深さは30cm以上

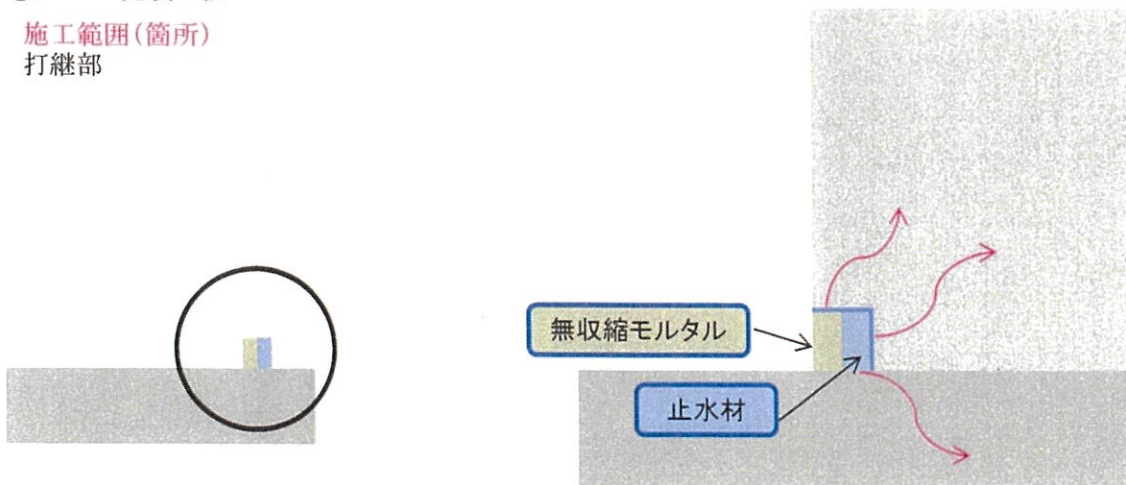
※先やり・後やり共

リバコンの触媒性化合物がコンクリート内部に浸透し、CSH系結晶生成を行います。
CSH系結晶が、空隙・クラックを埋めて行くことでコンクリートがより緻密になります。
その結果、コンクリート自体が防水層となり水の浸入を止めます。
後から入ったクラック(0.2mm未満)にも追従します。メンテナンスの必要はありません。

③リバコン充填工法

施工範囲(箇所)

打継部



無収縮モルタル

止水材

壁打設時に目地棒を設置し、打継目地(20×20)を取って下さい。
型枠脱型後にリバコンを塗布し止水材・無収縮モルタルで埋め戻します。
床と壁の打継部にCSH系結晶を生成することで隙間を埋めて行きます。